

令和5年度進行管理・評価シート
長浜市 歴史的風致維持向上計画（令和2年8月26日認定）
（最終変更 令和6年3月25日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 都市計画課と文化観光課の連携及び 長浜市歴史まちづくり協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観条例・屋外広告物条例の施行状況	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 山蔵保存修理事業	3
2 大通寺伽藍群保存修理事業	4
3 黒壁ガラス館本館耐震改修事業	5
4 歴史的建築物保存活用事業・伝統的 街並み景観形成事業	6
5 屋外広告物修景顕彰事業	7
6 伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業	8
7 豊公園再整備事業	9
8 木之本宿道路整備事業	10
9 長浜曳山祭保存伝承事業	11
10 きもの大園遊会開催事業	12
11 ふるさと夏まつり「地蔵縁日」開催事業	13
12 木之本宿まちなか再生事業	14
13 北国街道木之本宿にぎわい創出事業	15
14 観音の里ふるさとまつり開催事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査	17
2 文化財の保存・修理等	18
3 文化財の防災	19
4 埋蔵文化財の取扱い	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 華麗な演技 大観衆が興奮 ほか	21
2 人出10万人 花火で締め 4年ぶり「ふるさと夏祭り」盛況 ほか		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 市民を対象としたアンケート結果	23
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
都市計画課と文化観光課の連携及び長浜市歴史まちづくり協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

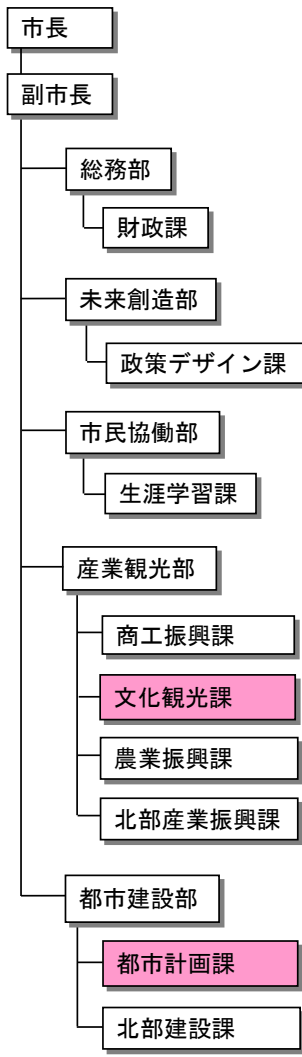
計画に記載している内容
 長浜市歴史まちづくり協議会を中心としながら、認定計画の推進を図る。
 また、都市計画課と文化観光課が主体となり、連携を図りながら、認定計画の実施・推進に向けた協議、連絡調整を行うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画課と文化観光課が協議・連携して、事業の推進を図っている。
 また、事業の進捗状況等について、法定協議会である長浜市歴史まちづくり協議会を開催し、協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



庁内連携体制



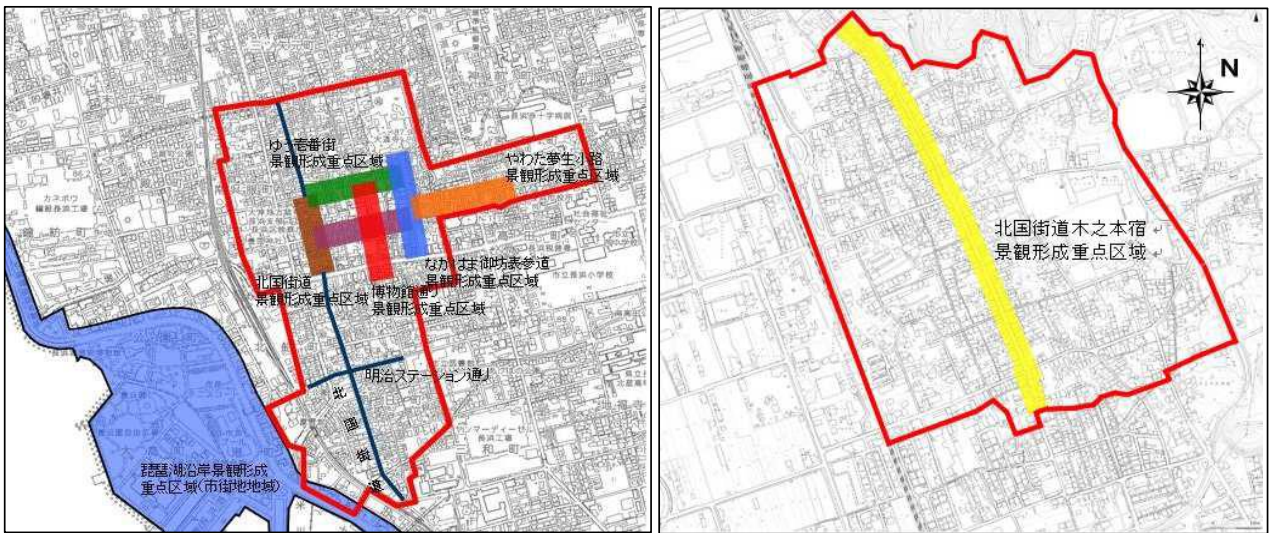
第21回長浜市歴史まちづくり協議会の様子

○第21回長浜市歴史まちづくり協議会
 開催時期: 令和6年2月15日(木)
 開催方法: 長浜市役所 3階 特別会議室
 議題:
 ・歴史的風致維持向上計画の軽微変更案について
 ・歴史的風致維持向上計画の進捗状況について

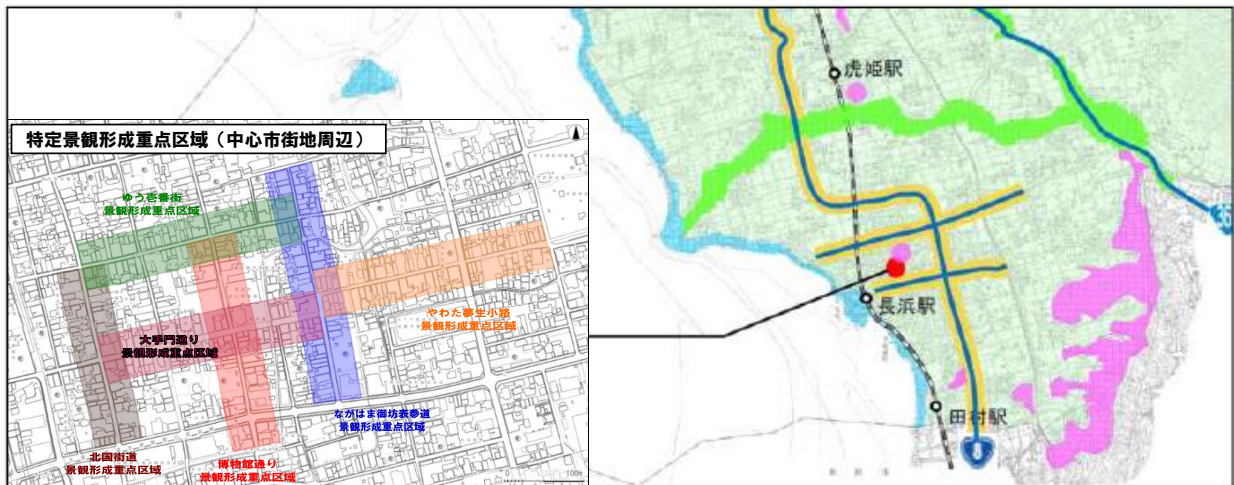
評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観条例・屋外広告物条例の施行状況		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の重点区域に、景観の重点区域を指定し、周辺の町並み景観と調和した建築行為等が行われるよう、規制誘導を行っている。また屋外広告物については、平成24年度から市条例を施行し、より質の高い屋外広告物によって魅力的な町並み景観が創出されるよう、良好な屋外広告物の規制誘導に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本計画の重点区域内において、良好な景観形成を図るため、長浜市景観条例及び長浜市屋外広告物条例に基づき、審査事務を行っている。 景観法に基づく届出件数 4件(R5.12.31時点) 屋外広告物許可件数 1件(R5.12.31時点)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		良好な景観形成を進めていくため、引き続き制度の趣旨や目的を周知し、住民等の意識向上を図っていく。	

状況を示す写真や資料等



歴史的風致維持向上計画の重点区域及び景観の重点区域



屋外広告物の規制地域概要図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
山蔵保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～令和11年度

支援事業名 県文化財保存事業費補助金
市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した13の山蔵について、損傷した壁面や扉、雨樋などの破損状況に応じ、保存修理が必要になったものについて、順次保存修理を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度～平成30年度実績:7棟修理
令和元年度～令和4年度:山蔵の損傷状況を確認し、令和4年度壽山山蔵の修理工事に着手
令和5年度:前年度に引き続き壽山山蔵の修理工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き保存修理が必要になったものについて、調査を行う中で保存修理を進めていく。

状況を示す写真や資料等

壽山山蔵修理状況



漆喰壁の塗り替え



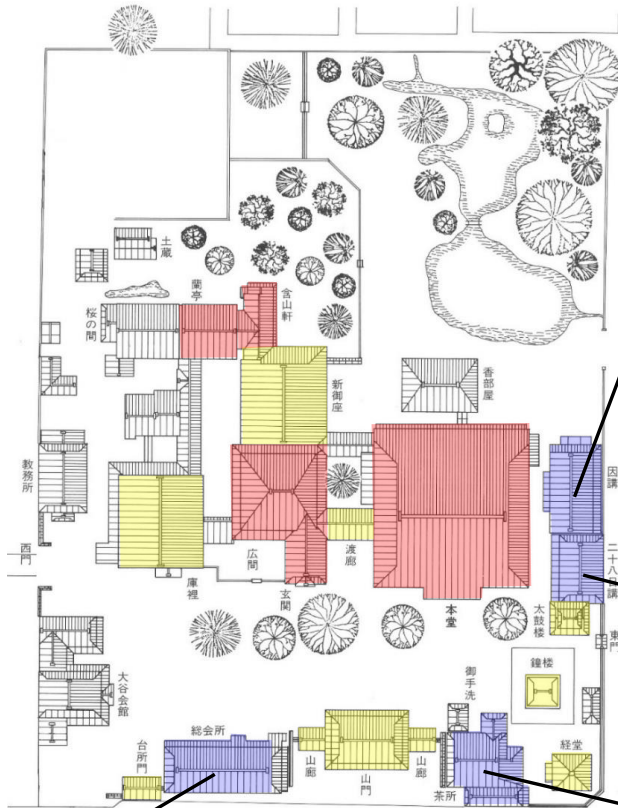
軒裏の鳥よけ金網設置

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
大通寺伽藍群保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大通寺の伽藍群の一部である講場(総会所、茶所、因講、二十八日講)について、保存修理設計調査を実施し、破損状況を把握したうえで、保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大通寺の伽藍群の一部である講場のうち、茶所、因講、二十八日講については、現状での維持管理が困難であることから、所有者において、取り壊しを進められており、建物が解体される前に実測調査、記録写真の撮影、古文書などの調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画全体は順調に進めているが、茶所・因講・二十八日講については、現状での維持管理が困難であることから、所有者において取り壊しを進められている。引き続き、記録写真の撮影・整理や、古文書などの調査を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			

大通寺平面図



- 重要文化財
- 市指定文化財
- 講場(文化財未指定)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
黒壁ガラス館本館耐震改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成27年度～令和3年度

計画に記載している内容 明治33年に旧第三百銀行長浜支店として建築された黒壁ガラス館本館は、老朽化により、内外壁のひび割れや床面の傾きなどが生じており、来館者の安全性が確保できないため、建築物の長寿命化と耐震の改修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年12月から耐震改修工事に着手し、令和3年3月に工事完了。
 【工事概要】 外壁の内側に荒壁パネル(補強パネル)を取り付けるとともに、柱と梁の接合部に耐震リングを設置。
 その他改修工事: 屋根葺き替え、内外部塗装改修、金庫室レンガ撤去、空調改修等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

改修前



改修後



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史的建築物保存活用事業・伝統的街並み景観形成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域である長浜城下町区域及び北国街道木之本宿内にある歴史的建築物を保存活用する際や伝統的な街並み景観の維持形成に配慮して町家、店舗、住宅等を改修する際に、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的な街並み景観を維持することでまちの魅力向上を図ることができた。 令和5年度:採択件数3件 改修内訳:住宅の外観改修 0件、店舗の外観改修 3件 平成20年度～令和4年度: 58件改修			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は空き町家の維持活用を一層後押しする事業を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



改修前



改修後

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
屋外広告物修景顕彰事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市屋外広告物条例及び市景観まちづくり計画に基づき、景観まちづくりを推進するため、屋外広告物の修景を行うとともに、優れた屋外広告物を顕彰する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度から令和3年度までの長浜景観広告賞の受賞広告物を地図上に示した「長浜景観広告賞まち歩きマップ」を作成した。長浜景観広告賞の受賞広告物をマップ上で紹介することにより、市内に表示されている屋外広告物及び景観に対する意識や関心を高めるとともに、優れた屋外広告物と、その周辺の景観を楽しみながらまち歩きや受賞施設巡りができるようになった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和4年度作成 長浜景観広告賞まち歩きマップ



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な建造物が数多く残る北国街道木之本宿区域において、伝統的建造物群保存地区の決定に向け、建造物の調査及び保存対策を実施するとともに保存区域について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度～令和3年度:伝統的建造物24棟(主屋11棟、土蔵7棟、その他6棟)の調査を実施 令和5年度:伝統的建造物保存地区について、地域住民と協議する検討部会を開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査を実施した伝統的な建造物について、随時、国登録文化財への登録手続きを進めていく。		
状況を示す写真や資料等			



第3回研究部会開催(11/27)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
豊公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和6年度		
支援事業名	防災・安全交付金事業(災害に強い魅力ある都市公園づくり) 令和元年度～令和6年度 市単独事業		
計画に記載している内容	公園施設の老朽化が著しく、史跡の活用も十分なされていないことから、史跡指定範囲内における史跡の活用を検討し、公園の再整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

JR長浜駅から長浜城歴史博物館までの園路南側の雑壇の整備を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備事業の進捗は交付金の配当次第となっている。

状況を示す写真や資料等

整備状況(旧児童遊園)



豊公園整備計画平面

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
木之本宿道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(まちなかウォークアブル推進事業) 令和5年度～令和9年度
市単独事業

計画に記載している内容 伝統的な建造物が数多く残る北国街道木之本宿区域を縦貫し、地域住民の生活空間となっている国道303号及び市道木之本穴師余呉線において、歴史的な町並みに調和した道路の美装化、路側帯の設置等を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

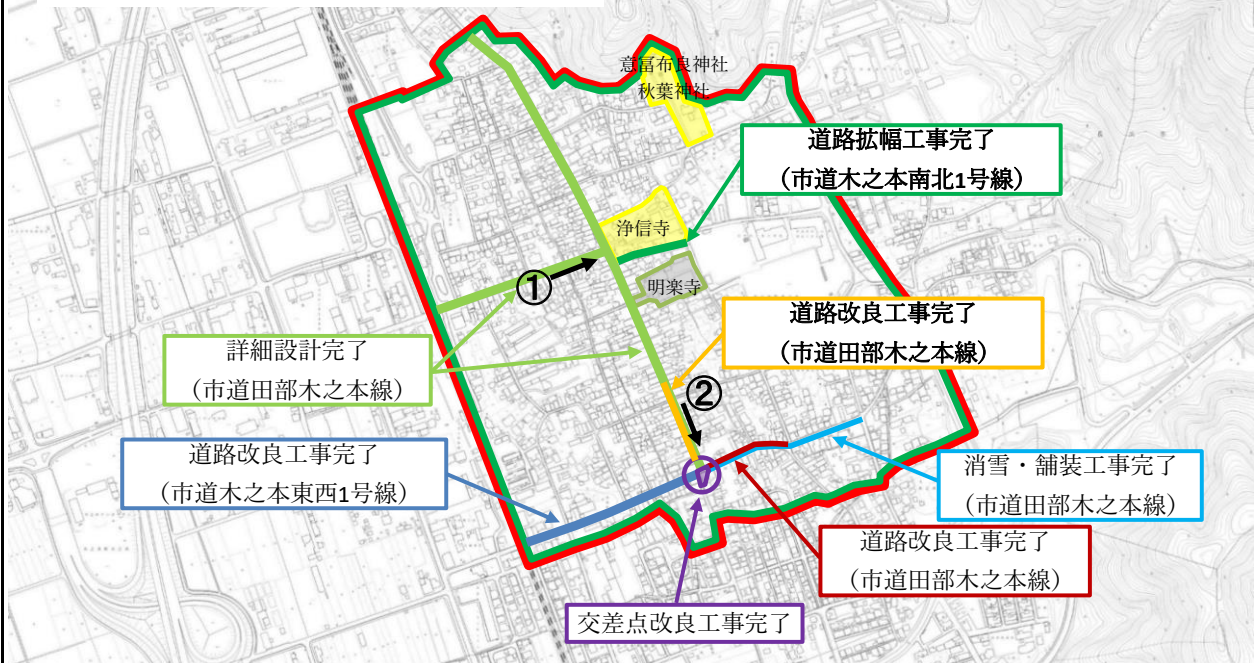
・木之本宿へのアクセス道路となる北国街道から東横町交差点(市道田部木之本線)までの道路改良工事及び浄信寺南側路線(市道木之本南北1号線)の道路改良工事が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市道田部木之本線(木之本地蔵の南北路線)の工事の発注及び施工方法について検討している。また、車両等の交通確保についても検討を要する。

状況を示す写真や資料等

北国街道木之本宿 (重点区域)



①市道木之本南北1号線



②市道田部木之本線 交差点

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
長浜曳山祭保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 長浜曳山祭を保存伝承するための取組(三役修業塾、囃子保存会等)を支援するとともに、保存伝承に必要な仕組みを整備・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【三役修業塾】 稽古日 太夫・三味線部門:週1～2回、振付部門:月2回～4回
 塾生数 延べ23人(太夫・三味線15人、振付8人)※重複2人
 活動実績 ながはま歌舞伎発表会(11/26文化芸術会館)、塾生の派遣(岐阜県垂井町 曳山子供歌舞伎)
 【囃子保存会】 稽古日 各山組にて週1回土曜or日曜
 稽古者数 約250人(内訳:小中学生約150人 大人約50人)
 活動実績 長浜曳山祭、曳山博物館秋の交替式での演奏
 市立長浜西中学校「伝統文化学習講座」、長浜小学校「長浜再発見・囃子クラブ」へ講師派遣、
 曳山祭ながはま歌舞伎(11/26文化芸術会館)、保護司会、鍛冶屋太閤踊りでの演奏、
 豊公まつりでの演奏
 曳山博物館での囃子保存会資料の展示

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 新型コロナウイルスが5類相当に定められ、今後は状況に応じて感染症対策を進めながら稽古と保存伝承を推進する。また、これまで以上に各地域団体と連携しながら事業を進めていく。三役修業塾については派遣事業に注力する。

状況を示す写真や資料等



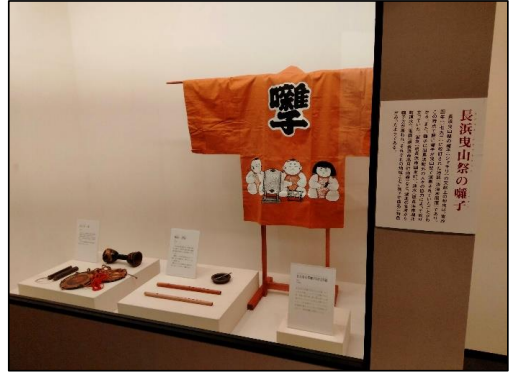
ながはま歌舞伎(文化芸術会館 11/26)



ながはま歌舞伎での演奏



三役修業塾 振付部門 稽古風



囃子保存会の資料展示

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
きもの大園遊会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大通寺を会場とした催事を開催して来街を促すことにより、門前町のにぎわいを創出して良好な市街地環境を形成するとともに、建造物の価値を再認識することにより良好な維持管理に資する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○開催日時: 10月14日(土)9:30～15:30(抽選会14:30～15:30) ○参加者数: 273人 ○参加料金: 3,000円(お茶券・お買物券1,000円分・抽選券付き) 持続可能なイベント開催とイベントの質の向上を図るため、これまで無料であった参加費を有料化した。また、5年ぶりに復活した大抽選会においては、人気テーマパークのチケットなどのもらって嬉しい景品を取り揃えた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長浜きもの大園遊会の開催と共に、昨年度に引き続き、「きものDE長浜」を開催した。(開催期間: 令和5年7月15日～令和6年3月31日・内容: きもの着用者への優待)引き続き、着物の似合うまち・長浜と目指しながら、柔軟な開催体系を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			

きもの大園遊会(当日の様子)



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
ふるさと夏まつり「地蔵縁日」開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	湖北の名刹・浄信寺で1年に1度催される木之本地蔵大菩薩の大縁日にあわせて、門前の北国街道及び地蔵坂でふるさと夏まつり「地蔵縁日」を継続的に開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宿場町の賑わいの創出と歴史的風致の向上に寄与し、地域の歴史や伝統を学び直す機会を作った。露店等の出店については、数をコロナ前と同等の規模に戻しながらも、混雑時でもより安全な会場となるように出店位置の変更を行った。また、花火大会については、出店場所に近い伊香高校のグラウンドに打上場所を変更した。 ◎露店等の出店:8月22日(火)～25日(金) 9:00～21:30(22日のみ17:00～) ◎木之本大花火大会:8月25日(金) 20:00～20:30 ◎全体の入込客数:約10万人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	混雑時の事故が懸念されることから、事業継続のためにより安全に配慮した事業となるように見直しを進める。		

状況を示す写真や資料等

ふるさと夏まつり「地蔵縁日」



当日の様子①



実行委員会本部



交通規制と警備状況



当日の様子②



当日の様子④



木之本大花火大会



当日の様子③

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
木之本宿まちなか再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	木之本宿において、往時の賑わいを取り戻すため、空き家や空き店舗の利活用の実態調査や利活用のコンサルティング、移住相談窓口、古民家見学ツアーなどに取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
空き家や空き店舗の利活用の実態調査 4件(R5年 12月末時点) 空き家や空き店舗の利活用のコンサルティング件数 4件(R5年 12月末時点) 移住・定住相談窓口 6件(R5年 12月末時点) 成約件数 0件(R5年 12月末時点)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	登録される空き家が減っているため、制度についての周知を図る。		

状況を示す写真や資料等



空き家活用相談所



短期的空き家活用推進事業(チャレンジショップ)

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
北国街道木之本宿にぎわい創出事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 木之本宿において、往時の賑わいを取り戻すため、北国街道沿いできのもと宿街道まつりや、登録有形文化財であるきのもと交遊館での企画展示、飛鳥時代の創建と伝わる歴史ある意富布良神社での夕涼み横丁などに取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

きのもと交遊館での企画展示を含めた誘客事業(春うらら・夏きらり・秋たわわ)、木之本一箱古本市、きのもと宿まつり(コーヒーフェスティバル等)、発酵横丁などを開催した。また、長浜450年戦国フェスティバルの一環として、ライブペイントや戦国時代に関しての展示等を行った。街並みやまち歩きに着目したイベントを行うことで、宿場町の賑わいの創出と歴史的風致の向上に寄与し、地域の歴史や伝統を学び直す機会を作った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	単独のイベントだけで短期的な効果を出すのではなく、街並みや歴史を生かしたイベントを企画し、街の魅力を引き出すことで、より継続的ににぎわい創出を図る。

状況を示す写真や資料等



木之本一箱古本市(4/9)

きのもと交遊館展示



春うらら展示
(4/22～5/7)



佐藤周作ライブペイント
(10/15～10/22)



夏きらり
(8/11～8/27)



秋たわわ
(11/11～11/26)



水のジャパンコーヒーフェスティバル2023 in木之本
(10/21～10/22)



きのもと発酵横丁(11/4)

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
観音の里ふるさとまつり開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高月地域の観音様を拝観する催事を開催することにより、これらの観音様を守り伝えてきた先人の心と美しい観音像を後世に継承する意識の向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ボランティアガイドの案内とともに観音堂等を巡る周遊ツアーや、駅やお堂を巡回するバスを運行させるなど、コロナ前の規模でまつりを開催することで、地域内外への観音文化の周知や、地域の方々との交流の機会を作った。 ◎開催日時:10月15日(日) ◎入込客数:1万5千人程度(コロナ前と同水準) ◎周遊バスツアー:7コース			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光誘客だけでなく地元住民に観音文化への興味を喚起し、事業継続のために地域での交流や文化の継承が図れるよう事業を進めていく。		

状況を示す写真や資料等



観音の里ふるさとまつりチラシ



門前市



巡回バス停(高月駅)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市内に分布する文化財について調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各山組から曳山の破損箇所等の相談・報告があったものについて、修理に関する事前調査を実施した。
 【孔雀山曳山(鬼板・鳥衾)修理事前調査】: 曳山祭において、アーケードに接触し、曳山の鬼板・鳥衾が破損。
 【鳳凰山曳山懸装品(見送幕)事前調査】: 秋の交替式において、見送幕の吊るし紐が切れ、見送幕のガラス風鎖が落下し破損。
 【翁山曳山懸装品(幟竿・毛槍)事前調査】: 曳山祭において、毛槍の持ち手同士が衝突し、幟竿・毛槍が破損。
 【高砂山(屋根・錆金具)修理事前調査】: 曳山展示に伴う点検において、屋根の一部が破損していることを確認。また、破損により錆金具に緑青が発生。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルスにより、曳山祭の開催が久しぶりとなったことから、日常管理等の曳山の取り扱いを再度確認するよう、所有者に注意喚起を行う。

状況を示す写真や資料等



長浜曳山祭 翁山懸装品



長浜曳山祭 孔雀山曳山懸装品
(鬼板・鳥衾)修理事前調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の保存・修理等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 適切な保存が図られるよう計画的に指定等文化財の修理等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長浜曳山祭保存修理事業において、各曳山の修理を実施。
 染織専門の曳山保存専門委員会委員の指導のもと高砂山の見送り幕の復元新調を実施。
 令和5年・6年度の2カ年事業の青海山の花道板の修理は、金具制作および取り付け作業を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

修理事業は、それぞれ曳山保存専門委員会委員の指導のもと進めており順調であるが、今後、技術的に復元できないことも生じる可能性がある。その場合は、曳山修理委員会において、曳山保存専門委員会委員や文化庁と今後の対策を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



長浜曳山祭 保存修理事業
高砂山面幕復元新調



長浜曳山祭 保存修理事業
青海山 曳山花道板修理

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の火災被害を少なくするため、自動火災報知設備及び消火器具の設置及び更新を図る。さらに、広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民及び消防署が一体となった防火訓練を定期的を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに伴い、長浜消防署、東浅井分署、伊香分署の主催で第70回文化財防火運動を実施。防火訓練・査察を通し、地域消防団や消防署の初動体制を再度確認するとともに、地域住民の文化財愛護思想の高揚を図った。
 防火訓練:1件
 防火査察:23件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 個人管理者、宗教法人等によって、防災体制の差異や消火機材の整備遅れがみられる。そのほか、道路狭小の場所もあり、消防自動車の通行に難となる地域も存在している。引き続き、火災発生時の防災体制など、対応を整えていくよう所有者に注意喚起を図る。

状況を示す写真や資料等

令和5年度 文化財防火訓練・査察

開催日	内容	場所
1月19日	防火査察	東雲寺地藏堂、中村家住宅、塩津神社、唐川日吉神社
1月20日	防火訓練	大通寺
1月22日	防火査察	五村別院、常善寺、井口日吉神社
1月23日	防火査察	長浜鉄道スクエア、多田幸寺、総持寺、醍醐寺、光信寺
1月26日	防火査察	正源寺
1月27日	防火査察	田中神社、岡本神社、南郷公会堂
1月28日	防火査察	善隆寺
1月30日	防火査察	長浜八幡宮、舎那院、神照寺
2月3日	防火査察	大田神社、瓜生日吉神社
2月4日	防火査察	飯開神社、和泉神社



大通寺消防訓練の様子 (R6. 1. 20)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財の保護について、関係各課と連携を図り、開発行為等の情報を共有している。また事業者と事前協議を行い、必要に応じて試掘調査を行うなど開発行為と文化財保護との調整を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関係機関と連携を図り、必要に応じて埋蔵文化財の試掘調査や本掘調査を実施した。
 発掘届出数(167)、立会調査件数(13)、試掘調査件数(20)、本掘調査件数(9)
 令和5年度:立会調査1件、試掘調査3件、本掘調査7件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



石田氏館遺跡第19次調査 重機掘削状



石田氏館遺跡第19次調査 遺構完掘状況

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
華麗な演技 大観衆が興奮	R5.4.16	中日新聞
観音巡行バス 4年ぶり運行	R5.10.14	毎日新聞
豪華絢爛 秋の曳山巡行 3年ぶり登り山形式 町衆の掛け声響く	R5.10.15	毎日新聞
「北国街道 木之本宿」旗でPR	R5.11.26	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◎長浜曳山祭:6年ぶりに全十三基の曳山が「御旅所」に勢ぞろいするなど最高潮の盛り上がりを見せた。
 ◎観音の里ふるさとまつり:4年ぶりに駅や観音堂などを結ぶ巡回バスを運行するなど、県内外から大勢の人々が訪れた。
 ◎曳山交代式:2024年に出番となる曳山を収蔵庫(曳山博物館)から山蔵に戻すため、曳山が城下町を巡行し、観光客の目を楽しませた。
 ◎北国街道木之本宿:北国街道木之本宿の街道沿いの街灯に「北国街道 木之本宿」と伝える色とりどりの旗が設置され、観光客や住民に向けて地域のつながりなどをアピールした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



◎14日の夕暮り、きびやかな曳山を前に歩く高橋博の役者。身も髪も艶やかに先立ち、舞を披露する三連曳山。いずれも長浜市高野町の長浜八幡宮で。



中日



華麗な演技 大観衆が興奮

十五日、日本を代表する長浜曳山祭は、あじの空模様と、たが、全十三基の曳山が中心部の「御旅所」に六年ぶりに勢ぞろいする姿、観衆の盛り上がりを見せた。九日から始まった祭りの目玉が大詰め、長浜八幡宮で三連曳山、舞からしめ歌舞伎の奉納狂言に移り、高野山、萬壽寺、翁山、雀山の順に演じていった。曳山の(平)宗太郎、松田雄也



地面に足が着かないよう大人に抱きかかえられる御旅後の少年



◎再び降りしきる中、長浜八幡宮で、もたぎる観衆。観音堂に移動した後、歌舞伎を披露する観衆の様子。長浜市南區町で。



横笛を吹く孔雀山のしゃきり方

▲ 中日新聞
令和5年4月16日 朝刊掲載

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
人出10万人 花火で締め 4年ぶり「ふるさと夏祭り」盛況	R5.8.29	中日新聞
華やかな着物で大園遊会	R5.10.15	中日新聞
江北図書館(長浜)国文化財に 文化審答申	R5.11.25	中日新聞
「長浜城下町遺産」4分野11件決まる 知善院の表門・舎那院護摩堂など	R6.1.22	朝日新聞

評価対象年度 令和5年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◎ふるさと夏まつり:祭り期間の最終日には、花火大会が開催。市内外から延べ約10万人の来場者が訪れ、大きなぎわいを見せた。
◎きもの大園遊会:長浜市街地を和服姿で楽しむ催しが開催。参加者は、散策や人力車体験、かるたなどを楽しみ、一帯に華やいだ雰囲気を楽しんだ。
◎国重要文化財:現存する県内最古の図書館「江北図書館」が国の登録有形文化財(建造物)として答申を受けた。
◎長浜城下町遺産:町の長所や美を見つめ直し、近世城下町としての長浜を伝承するため、長浜城下町遺産を11件選定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

中日新聞
令和5年8月29日 朝刊掲載



人出10万人花火で締め

4年ぶり「ふるさと夏祭り」盛況

木之本 長浜市木之本の「ふるさと夏祭り」が25日、4日間の祭り期間の最終日を迎え、恒例の大花火大会を開催した。
会場は木之本地蔵院一帯には、昨年(23年)近い百二十軒ほどの出店が並んだ。市内外から延べ約10万人の来場者が訪れ、大きなぎわいを見せた。

(平子宗典)

江北図書館(長浜) 国文化財に



文化審答申

昭和初期の「擬洋風建築」
本道(滋賀)は、昭和初期の擬洋風建築として、本道で初めて国の登録有形文化財(建造物)に指定された。これは、長浜市にある「江北図書館」である。この図書館は、明治35年に建てられた。当時の建築様式は、洋風の要素を取り入れつつ、和風の要素も残している。この建築様式は、長浜市の歴史を伝える重要な存在とされている。

「昭和初期の擬洋風建築」を指定されたのは、長浜市にある「江北図書館」である。この図書館は、明治35年に建てられた。当時の建築様式は、洋風の要素を取り入れつつ、和風の要素も残っている。この建築様式は、長浜市の歴史を伝える重要な存在とされている。

「昭和初期の擬洋風建築」を指定されたのは、長浜市にある「江北図書館」である。この図書館は、明治35年に建てられた。当時の建築様式は、洋風の要素を取り入れつつ、和風の要素も残っている。この建築様式は、長浜市の歴史を伝える重要な存在とされている。



江北図書館の位置



華やかな着物で大園遊会 長浜 中日

秋の長浜市街地を和服姿で楽しむ「長浜きもの大園遊会」が14日に催された。振り袖の女性を中心に約270人が参加。散策や茶席、人力車体験、かるたなどを楽しみ、一帯に華やいだ雰囲気を楽しんだ。

市は和服の生地になる絹織物「浜ちりめん」の産地。地元の浜縮緬工業協同組合や長浜縮緬協会などでつくる運営委員会が「着物文化創造と観光誘致のため、毎年10月に実施している。

メイン会場の大通寺(元浜町)では、集まった参加者が一斉にポーズを決めて記念撮影。浜ちりめんの着物や宿泊券が当たる抽せん会もあった。

地元・長浜市の中村文吉さん(25)は「自分の着物を着た。普段は着る機会がないので、高揚感がある」と話した。友人の氷原市の堀江瑞奈さん(25)は「背筋が伸び、シャキッとした気分になれる」と笑顔を見せた。(松本芳孝)

中日新聞
令和5年10月15日 朝刊掲載



老朽化対策に奔走 久保寺館長「ずっと残していけるように」
「ずっと残していけるように」と、館長は意を固くして、改修工事を進めてきた。久保寺は、長浜市の歴史を伝える重要な存在とされている。館長は、この建物を守り、後世に伝える責任を自覚している。改修工事は、建物の老朽化を解消し、快適な利用環境を整えるための重要な取り組みである。久保寺は、今後も引き続き、この建物を守り、後世に伝える責任を自覚している。

中日新聞
令和5年11月25日 朝刊掲載

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

市民を対象としたアンケート結果

計画に記載している内容
市民にとって長浜市は貴重な歴史や伝統が残された町であると強く認識されており、歴史的・文化的資源に磨きかける取組を強力に推進することで、その個性や魅力を高めることにつながっていく。それにより市民の歴史・文化に対する理解や愛着心を深めることができるとともに交流人口の拡大や観光振興など多方面に及ぶ効果も期待され、さらには地域経済の活性化も期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

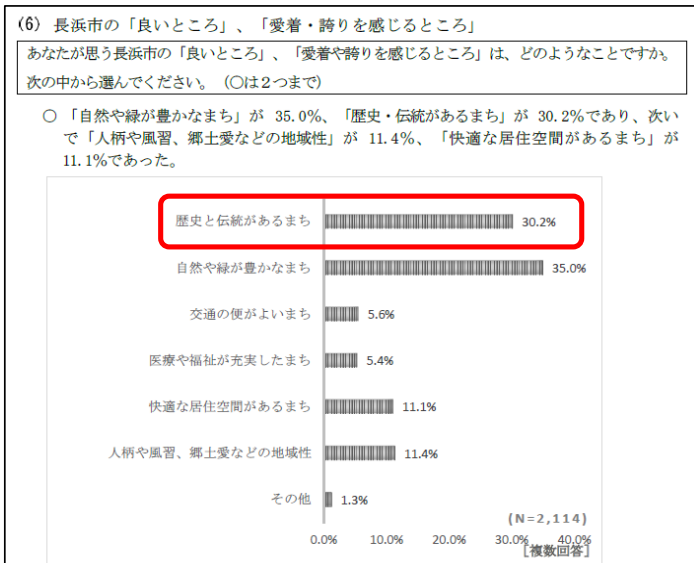
令和5年度市民意識調査の結果では、「長浜市の『良いところ』、『愛着・誇りを感じる場所』はどのようなことですか。」という問いに対して、「歴史・伝統のあるまち」を選択する人が「自然や緑が豊かなまち」に次いで多く、30.2%となっているほか、市の施策への満足度については、「伝統・歴史・文化の継承」が1位となり、「美しい景観の保全と創出」が3位となった。今後も、市民の歴史・伝統、景観の保全に対する意識の高さを保つためにも、歴史的風致の維持・向上に引き続き取り組んでいく必要がある。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



調査期間

令和5年4月26日～5月10日

調査対象者

18歳以上の長浜市民

調査配布数

4,000件

有効回答数

1,300件

有効回収率

32.5%

調査項目③ 58の施策のうち、満足度で最も高いのは「伝統・歴史・文化の継承」、重要度では「防犯対策」でした

- 満足度
- ・ 施策への満足度では、昨年度から0.11ポイント上がり「伝統・歴史・文化の継承」が1位となりました。
 - ・ 上位3施策は順位の変化こそあるものの、昨年度と同じ施策でした。4位の「母子保健と子どもの医療サービス」は昨年度9位からの順位上昇となり、5位の「人権を尊重する社会づくり」は昨年度6位からの順位上昇となりました。また、昨年度4位だった「交通安全対策」については、0.05ポイント下がり11位となりました。
 - ・ 昨年度と比べて順位の“上昇”が最も大きかったのは「地域が持つ魅力の発信と観光振興」(昨年度33位→19位)となりました。一方、順位の“下降”が最も大きかったのは、「子育てにかかる経済的な負担の軽減」(昨年度41位→52位)と「高齢者への介護や福祉のサービス」(昨年度13位→24位)となりました。
- 重要度
- ・ 施策への重要度では、「防犯対策」(昨年度同率1位)が0.09ポイント上がり1位となりました。推測されることとして、全国各地で強盗事件が多発していることから意識が高まったものと考えられます。
 - ・ 1～5位については、順位の違いはありますが昨年度と同じ施策が上位を占める結果となりました。
 - ・ 昨年度と比べて順位の“上昇”が最も大きかったのは「小学校(義務教育学校)に入学するまでの教育の推進」(昨年度40位→23位)となりました。一方、順位の“下降”が最も大きかったのは、「地球温暖化対策」(昨年度22位→36位)となりました。

順位	満足度の上位5施策(5段階評価)	スコア
1位	伝統・歴史・文化の継承	3.47 3.36
2位	健康などを通じた個人の健康づくりの推進	3.36 3.36
3位	美しい景観の保全と創出	3.33 3.25
4位	母子保健と子どもの医療サービス	3.31 3.13
5位	人権を尊重する社会づくり	3.27 3.19

順位	重要度の上位5施策(5段階評価)	スコア
1位	防犯対策	4.48 4.39(1)
2位	災害などに対する危機管理体制	4.46 4.39(1)
3位	交通安全対策	4.43 4.39(1)
4位	地域医療体制の充実	4.36 4.29(4)
4位	地域による防災対策へのサポート	4.36 4.24(5)

評価対象年度 令和5年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 第21回長浜市歴史まちづくり協議会

会議等の開催日時: 令和6年2月15日(木) 13:30~

(コメントの概要)

・木之本宿周辺の建物の中には、文化財登録に向けての調査が終了しているが、まだ文化財登録に至っていない建物がある。文化財登録が進むことは、重要伝統的建造物群保存地区に繋がるものと捉えているため、引き続き、文化財登録に向けて事業に取り組んでほしい。

・歴史的建築物保存活用事業・伝統的街並み景観形成事業や、木之本宿まちなか再生事業について、近年、実施件数が減少しているが、計画期間がまだ十分あるため、長浜のまちなかのみならず、木之本も含めて、伝統的な景観を大事にしたまちづくりをするという観点、そして、住宅・店舗を活用してこそまちのにぎわいが生まれるという観点の両方を大事にしながら、関係する地域団体などと連携して事業を進めてほしい。

・まちづくりにおいては、分野をまたいで議論しなければ達成できない課題も多くあるため、セクション割りの一方の面から考えるのではなく、両方の面から考えることが重要。一つのセクションで解決できないような案件が発生した際は、どのような方向性で進めていくかを協議できる場を設けるようにしてほしい。

・隔切りがない伝統的な町割りを守ることで伝統的建造物群保存地区になりうると考えているため、木之本宿の南側交差点が整備されてしまったことは非常に残念である。建物が解体されたとしても、町割りを残すことが大切と考える。

・状況等を示す写真の中には、何のために、どのようなことを行っているのかなど、キャプションで補足説明を行うとより理解が深まるものもある。記録として残していくためにも、その事業の成果や状況が正しく伝わるように心がけてほしい。

・移住、定住に興味を持って、木之本を訪れる方の中には、空き家の一部のみを借りたい方もいる。貸し出す側と借りる側で思いが合致していない部分があるため、空き家があっても活用まで至らず、歯がゆい思いをしている。

・市民意識調査の中で、長浜市の「良いところ」として、「歴史と伝統があるまち」を選ぶ市民が多く、施策に関しても「伝統・歴史・文化の継承」が評価されているが、歴史的な建物の取り壊しなども発生しており、この結果を裏切ることになってしまうのではないかと心配である。

(今後の対応方針)

・文化財登録に向けて事前調査済みの建物(民家)については、所有者の同意がなかなか得られず、文化財登録に至っていない。引き続き、所有者の同意が得られたものについて、順次、文化財登録の手続きを進めていく。

・歴史的建築物保存活用事業・伝統的街並み景観形成事業や、木之本宿まちなか再生事業については、伝統的な景観を大事にしたまちづくりをするという観点、住宅・店舗を活用してこそまちのにぎわいが生まれるという観点の両方を大事にしながら、今後も事業を進めていく。

・一つのセクションで解決できないような案件が発生した際に、解決に向けて様々な視点から考えられるよう、行政の体制や組織を越えた横のつながりを検討していく。

・協議会での意見や議論した内容について関係課で共有しながら、よりよい事業展開となるように努める。

・事業の成果や状況が正しく伝わるように進行管理・評価シートのキャプションの修正を行う。